

ホームセキュリティー用品

赤外線投光器 完成品

【概要】

赤外線対応ビデオカメラと組み合わせることで、夜間など真っ暗な場所でも映像をとらえることができます。高出力赤外LED 56個と明るさセンサの組み合わせで夜間は鮮明で、かつ昼間は自動消灯する、赤外線投光器です。

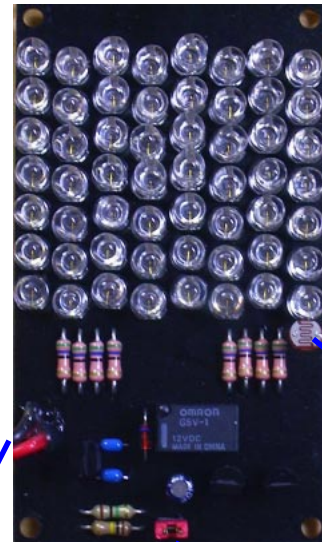
【使用法】

ケースに組み込むときは放熱とショートに注意してください。また、屋外の場合は内部に雨が入らないようにし、もし入った場合底面に水がたまらないよう小さな穴をあけておいてください。

電源の+ - を間違えないよう注意して12Vの電源に接続します。昼間は自動消灯します。夜間になり暗くなると自動点灯します。点灯しても目には見えません。赤外線に感度のあるカメラで明るく撮像できます。なお、被写体が投光器から離れるほど暗くなります。投光器を複数使用することで投光器からの撮影可能距離が増えます。

最近のCCDカメラは感度が良くなっていますので、より暗くなつてから点灯させるには基板上的ジャンパーピンを抜いてください。

電源 12V 赤+ 黒-



光センサ

明るさ設定ジャンパー

【注意】

一般的にモノクロカメラは赤外線に感度があり撮像できます。ただし、赤外線カットフィルターの内蔵されているカメラは使用できません。カラーカメラでも赤外線カットフィルターのないカメラは使用できます。(写るのはモノクロ画像となります。)

赤外投光器と被写体が極端に近いと被写体で反射した赤外線を光りセンサーが感知してON/OFFを繰り返すことがあります。

赤外線投光器をカメラの視界内に取り付けるとカメラにスミア(縦線のノイズ)が発生して見にくくなる場合があります。

本セットは6Wの消費電力がありかなり発熱します。抵抗などに触れないよう、またケースに組み込む場合は金属ケースなどに組み込むなどして放熱が良いよう充分注意してください。

赤外LEDは定格いっぱいの電流設定となっています。従って、14V以上の電圧がかからないよう充分ご注意ください。過電圧によってLED、抵抗が焼損することがあります。

基板裏、金属部でショートしないようご注意ください。異常発熱、LED、抵抗が焼損することがあります。

本体の発熱による赤外線が人体赤外センサを動作させる場合があります。人体赤外センサの検知範囲内に本体が入らないようご注意ください。

本セットを用いて生じるいかなる不利益も当方では一切補償致しかねます。

【参考資料】

一般にカラーカメラはカメラの保護や色再現の向上のため赤外カットフィルターが内蔵されています。従って赤外線領域の感度は極端に低くなっています。通常モノクロカメラで最大到達距離は5m以上となっています。カメラの赤外線領域の感度が低い場合最大到達距離が5m以下となることがあります。長距離まで、撮像するにはできるだけ赤外領域が高感度のカメラをご使用ください。なお、当社扱いのC-MOSカメラはカラーカメラですが赤外線投光器が使用できます。ただし、カラー化のための色フィルターのため感度は若干低下します。(赤外線投光器で写る画像はモノクロです。)一般的に白っぽい物体は赤外線の反射率も良いのでより遠くまで写ります。逆に黒っぽい物体は赤外線の反射率も低くなり近くまで判別が付きにくくなります。その他不明な点はお問い合わせください。

仕様

電源 DC12V 500mA(標準)

基板寸法 49×84 高さ15mm以内

最大到達距離 5~10m(カメラ感度により異なります)

その他 昼間自動消灯機能、明るさ設定2段

(有)アール・アイ・エフ

〒648-0096 和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410 FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>